

事例 No.	43	人口規模	80万人以上	地域ブロック	近畿	事業タイプ	交流イベント	事業主体	地方公共団体
事業名	なら子育て応援団事業								
実施地方公共団体名	奈良県								
特徴・ポイント	<p>なら子育て応援団は、以下の4つの類型により、子育て中の家庭を応援する。</p> <p>子育て家庭に優しい設備や付加的サービスの提供を行う「子育て家庭応援隊」、多子世帯に料金の割引やプレゼントなどのサービスを提供する「多子世帯応援隊」、自社の従業員の子育てを応援する「従業員家庭応援隊」、地域でさまざまな子育てを応援する活動を行う「地域子育て応援隊」</p>								
事業のねらいと内容	<p>【ねらい】 ストップ少子化を県民運動として盛り上げ、その取組の輪が広がっていくよう、「結婚ワクワクこどもすくすく県民会議」は、子育てを応援するNPO・団体・企業・店舗等を募集し、「なら子育て応援団」に登録、その活動を広報し、支援することにより、地域における子育て支援の輪を広げる。</p> <p>【内容】 子育てを応援する企業・店舗・NPO等を募集し、「なら子育て応援団」に登録、その活動をホームページ等で広報することにより、地域における子育て支援の輪を広げる取組を推進。</p>								
導入・実施の背景・経緯 (事業の必要性)	<p>ストップ少子化を県民運動として盛り上げ、その取組の輪が広がっていくよう、「結婚ワクワクこどもすくすく県民会議」は、子育てを応援するNPO・団体・企業・店舗等を募集し、「なら子育て応援団」に登録、その活動を広報し、支援することにより、地域における子育て支援の輪を広げる。</p>				導入・実施に際して苦労した点				
事業の効果	<p>なら子育て応援団員数:540団体(954店舗)(H19.3.31現在) 「子育て家庭応援隊」257団体(308店舗) 「多子世帯応援隊」311団体(561店舗) 「従業員家庭応援隊」11団体 「地域子育て応援隊」74団体 なららちゃんカードの交付実績約3,712世帯</p>				<p>なら子育て応援団の団員の募集・勧誘活動。 また、多子世帯であることを証明する「なららちゃんカード」の周知・配布活動。</p>				
事業のアピールをどのように行ったか	<p>県や市町村の広報紙・新聞・テレビ番組等での紹介による広報。 広報チラシの配布、県職員及び、市町村職員等による各企業・店舗・NPO等へこの募集活動による広報。</p>				実施にあたってのネックをどのように解決したか				
必要な協力先・実施主体とその確保策	<p>(必要な協力先)市町村・企業・店舗・NPO等 (確保策) ストップ少子化市町村連絡会議 結婚ワクワクこどもすくすく県民会議等のネットワーク活用。</p>				<p>団員の勧誘活動に対しての人員の不足 市町村との共催化により、市町村関係職員とともに、団員募集・勧誘活動を行い、入団数の増加に多大な成果を上げることが出来た。</p>				
概算事業費 (千円/年度) 平成18年度予算	<p>5,431千円 <内訳> 国庫補助金:4,500千円 一般会計:931千円</p>				問い合わせ先		<p>所属部署:福祉部こども家庭局少子化対策室 TEL:0742-27-8603 FAX:0742-27-8107</p>		